

ものすごくうるさくて、ありえないほど近い (2011)

EXTREMELY LOUD & INCREDIBLY CLOSE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 129分
初公開日 2012/02/18
公開情報 ワーナー
映倫 G

【キャッチコピー】

あの日父を失くした少年の、喪失と再生のものがたり

【解説】

「僕の大事なコレクション」の原作『エブリシング・イズ・イルミネイテッド』でデビューした注目の作家ジョナサン・サフラン・フォアが9.11後の喪失と再生をテーマに描いた傑作小説を、「リトル・ダンサー」「愛を読むひと」のステイーヴン・ダルドリー監督が映画化。9.11のテロで父親を失った少年が、父の遺品である一本の鍵に合う鍵穴を探そうとニューヨーク中を旅する中で、様々な出会いを重ねながら少しずつ父の死を受け止め、悲しみを乗り越えていく姿を感動的に綴る。主人公の少年役には本作がデビューとなる新人トーマス・ホーン、共演にトム・ハンクス、サンドラ・ブロック、マックス・フォン・シドー。

9.11アメリカ同時多発テロで最愛の父を失った少年、オスカー。いまだ悲しみから立ち直れずにいる母と2人暮らしの日々。そんなある日、父の遺品の中から一本の鍵を見つける。それが入っていた封筒には“ブラック”の文字。オスカーはこの鍵に父のメッセージが託されていると確信し、母親に内緒でニューヨークに住むブラック氏をしらみつぶしに訪ねて謎を解き明かそうと決意する。やがて、祖母のアパートに間借りしている風変わりな老人がオスカーの鍵穴探しの旅を手伝うようになるのだが…。

【クレジット】

| | | |
|-------------|----------------|----------------------|
| 監督 | ステイーヴン・ダルドリー | Stephen Daldry |
| 製作 | スコット・ルーディン | Scott Rudin |
| 製作総指揮 | セリア・コスタス | Celia Costas |
| | マーク・ロイバル | Mark Roybal |
| | ノラ・スキナー | Nora Skinner |
| 原作 | ジョナサン・サフラン・フォア | Jonathan Safran Foer |
| 脚本 | エリック・ロス | Eric Roth |
| 撮影 | クリス・メンゲス | Chris Menges |
| プロダクションデザイン | K・K・バレット | K.K. Barrett |

『ものすごくうるさくて、ありえないほど近い』(NHK出版刊)

| | | | |
|----|----------------------|----------------------------|------------|
| 編集 | クレア・シンプソン | Claire Simpson | |
| 音楽 | アレクサンドル・デプラ | Alexandre Desplat | |
| 出演 | トム・ハンクス | Tom Hanks | トーマス・シエル |
| | サンドラ・ブロック | Sandra Bullock | リンダ・シエル |
| | トーマス・ホーン | Thomas Horn | オスカー・シエル |
| | マックス・フォン・シドー | Max Von Sydow | 賃借人 |
| | ヴァイオラ・デイヴィス | | アビー・ブラック |
| | ジョン・グッドマン | John Goodman | スタン |
| | ジェフリー・ライト | Jeffrey Wright | ウィリアム・ブラック |
| | ゾー・コードウェル | Zoe Caldwell | オスカーの祖母 |
| | ヘイゼル・グッドマン | Hazelle Goodman | |
| | スティーヴン・マッキンリー・ヘンダーソン | Stephen McKinley Henderson | |